

第3次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン（案）

第3次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンにおける 具体的取組

◆生活機能の強化に係る政策分野

医療・福祉	医療体制の確保	休日・夜間応急診療所の維持運営	1
		病院群輪番制の維持	2
		医療受診適正化の啓発	3
		在宅医療・介護連携の推進	4
	子育て環境の充実	病児・病後児の保育施設の運営	5
		ファミリーサポートセンター提供会員の相互利用	6
		児童発達支援センターの設置、運営	7
産業振興	商工業の振興	伊勢志摩総合地方卸売市場の経営基盤の確立	8
		中小企業勤労者及び事業主への勤労者福祉制度の充実に向けた支援	9
		企業立地の推進	10
		イベント等の誘致・開催	11
		創業に関する支援	12
	農林漁業の振興	鳥獣被害防止対策	13
	観光の振興	伊勢志摩地域への旅客誘致	14
		伊勢熊野地域への旅客誘致	15
		伊勢志摩国立公園の自然保護、PR、地域振興	16
	その他	自転車の活用推進	自転車を活用したまちづくり

◆結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

公共交通	交通ネットワークの充実	廃止代替路線バスの維持	18
		コミュニティバス運行の連携	19
	道路網の整備促進	県道鳥羽松阪線の建設促進	20
		県道伊勢南島線の建設促進	21
		宮川架橋の建設促進	22
伊勢志摩連絡道路の建設促進	23		
観光交通の渋滞緩和	伊勢地域周辺における交通渋滞の緩和	24	
地域の生産者、消費者等の連携による地産地消	地産地消の推進及び地場産品のPR推進	地産地消の推進、地場産品のPR	25
地域内外の住民との交流	地域情報の共有化及び発信	圏域内外への地域情報等の情報発信	26
	出会い・結婚への支援	出会い・結婚に関する情報提供等	27
その他	図書館サービスの充実	図書館サービスの更なる充実に向けた仕組みの構築	28
	宮川流域の保全・活用	宮川流域情報の集約及び提供等	29
	消費生活相談体制の強化	消費生活センターの広域化	30
	インクルーシブスポーツ環境の充実	インクルーシブスポーツの普及啓発	31

◆圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

人材育成	圏域市町職員・教職員の人材育成	職員研修の合同開催	32
		教職員研修講座の実施	33
	圏域内人材の育成	青少年健全育成の合同研修会の開催	34

【区分】生活機能の強化
 【政策分野】医療・福祉
 【施策名】医療体制の確保

取組事項		休日・夜間応急診療所の維持運営							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○	○	○			○
協定の内容	取組内容	救急医療体制を確保するため、休日夜間の一次救急医療体制（休日・夜間応急診療所）を維持運営する。							
	中心市の役割	伊勢市休日・夜間応急診療所を維持運営する。							
	連携市町の役割	伊勢市休日・夜間応急診療所（鳥羽市及び志摩市は歯科診療に限る。）の運営に必要な経費を負担する。							
現状と課題		圏域の休日・夜間における一次救急医療は、伊勢市、鳥羽市及び志摩市の休日・夜間応急診療所にて行っている。内科、小児科とともに歯科を開設しているのは伊勢市休日・夜間応急診療所だけである。							
事業の概要		伊勢地区医師会、伊勢地区歯科医師会及び伊勢薬剤師会に委託し、休日・夜間の一次救急医療体制(伊勢市休日・夜間応急診療所)を維持運営する。							
期待される効果		休日・夜間の一次救急医療体制を確保することで、住民の休日・夜間における診療の不安を軽減するとともに健康管理に繋がる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		129,830	129,830	129,830	129,830	129,830			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	伊勢市休日・夜間応急診療所の運営						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	開所日数（日）	365	/	365	365	365	366	365	伊勢市休日・夜間応急診療所の年間開所日数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	利用者数（人）	4,664	/	9,500	9,500	9,500	9,500	9,500	伊勢市休日・夜間応急診療所の年間利用者数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
時点									
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。
 ※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】生活機能の強化
 【政策分野】医療・福祉
 【施策名】医療体制の確保

取組事項		病院群輪番制の維持							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○	○	○	○	○	
協定の内容	取組内容	救急医療体制を確保するため、休日夜間の二次救急医療体制（病院群輪番制）を維持する。							
	中心市の役割	病院群輪番制の運営に必要な経費を負担する。							
	連携市町の役割	病院群輪番制の運営に必要な経費を負担する。							
現状と課題		地域の休日・夜間における二次救急医療は、伊勢赤十字病院と市立伊勢総合病院の2総合病院で行っている。							
事業の概要		地域内の総合病院の輪番制による二次救急医療体制の維持に必要な支援を行う。							
期待される効果		二次救急医療体制を維持確保し、住民が24時間いつでも診療が受けられる体制の確保に繋がる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		34,750	34,750	34,750	34,750	34,750			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	病院群輪番制病院への支援						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	開所日数（日）	365	/	365	365	365	366	365	輪番制により開所した日数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	受入人数（人）	18,272	/	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	輪番制による年間受入人数（各病院の合計）
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	時点								
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。
 ※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】生活機能の強化
 【政策分野】医療・福祉
 【施策名】医療体制の確保

取組事項		医療受診適正化の啓発							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○	○	○	○	○	
協定の内容	取組内容	救急医療体制を確保するため、適正な医療受診に係る啓発を行う。							
	中心市の役割	連携市町と連携し、住民等への啓発等を行う。							
	連携市町の役割	中心市と連携し、住民等への啓発等を行う。							
現状と課題		圏域においては、地域の医療機関が連携し、医療機能に応じた医療機関の役割分担が進められている。しかし、軽症患者が二次救急を不適切に受診する例などにより、本来の医療機能を十分発揮できない場合が生じている。							
事業の概要		住民を対象として、救急時等における病状に応じた医療機関の適切な受診、「かかりつけ医」を持つこと等の啓発を、地域の実状を考慮して広報誌、CATV、救急・災害を考える集いなどで行う。							
期待される効果		「かかりつけ医」を持つことにより、平時の健康管理とともに、救急時においても適切な対応ができる体制整備が進められる。かかりつけ医と最寄の医療機関及び救急病院の役割分担についての理解も住民に広がり、適切な受診が促される。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		1,800	1,800	1,800	1,800	1,800			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	広報紙、CATV、イベント等による住民への啓発	—————▶							
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	啓発活動回数（回）	0	/	2	2	2	2	2	啓発に向けてのイベント等の開催回数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	参加人数（人）	0	/	700	700	700	700	700	イベントへの参加者数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	時点								
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。
 ※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】生活機能の強化
 【政策分野】医療・福祉
 【施策名】医療体制の確保

取組事項		在宅医療・介護連携の推進							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○			○	○		○	
協定の内容	取組内容	高齢者の在宅生活の支援に必要な体制を整備するため、在宅医療と介護の連携を支援する取組を行う。							
	中心市の役割	連携市町と連携し、在宅医療と介護の連携推進のために必要な取組を行う。							
	連携市町の役割	中心市と連携し、事業を実施するとともに、必要な経費を負担する。							
現状と課題		在宅医療・介護連携については、その保険制度が異なることなどにより、多職種間の相互の理解や情報の共有が十分にできていないことなど、必ずしも円滑に連携がなされていない。高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために必要な支援を行うことが求められる。							
事業の概要		地域の在宅医療・介護連携を支援する拠点として、在宅医療・介護連携支援センターを設置し、地域の医療・介護資源を把握するとともに、相談窓口の設置や情報共有支援等を行う。							
期待される効果		在宅医療・介護に関わる専門職の連携が円滑に行われることにより、高齢者の在宅生活支援に必要な体制が整備され、地域包括ケアシステムの強化となる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		17,340	17,340	17,340	17,340	17,340			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	事業の実施						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	在宅医療・介護連携支援相談窓口設置（箇所）	1	/	1	1	1	1	1	在宅医療・介護連携支援センター設置数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	連携推進会議の開催回数（回）	2	/	2	2	2	2	2	在宅医療・介護等の多職種、市町による連携推進会議の開催回数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
在宅医療・介護等多職種研修回数（回）	7	/	7	7	7	7	7	在宅医療・介護等の多職種による研修の開催回数	
時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度		
備考		在宅医療・介護連携支援センター・・・伊勢市、玉城町、度会町、南伊勢町が伊勢地区医師会への業務委託により共同設置。							

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。
 ※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】生活機能の強化
 【政策分野】医療・福祉
 【施策名】子育て環境の充実

取組事項		病児・病後児の保育施設の運営							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○			○	○	○	○	○
協定の 内容	取組内容	安心して子育てができる環境を提供するため、病児・病後児を保育する専用施設を運営する。							
	中心市の役割	事業の実施に必要な事務を行うとともに、連携市町と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担する							
	連携市町の役割	中心市と連携し、住民等への周知及び運営に必要な経費を負担する。							
現状と課題		核家族化や共働き家庭の増加により、病気あるいは病気回復期で集団保育の困難である児童（小学6年生まで）の保育施設の需要が高まっている。							
事業の概要		圏域内の住民の仕事と子育ての両立を支援するため、専用施設を有する小児医療機関に運営を委託し、病児・病後児の保育環境を確保する。また、住民への周知を行う。							
期待される効果		安心して子育てができる環境を提供することができる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		16,400	16,400	16,400	16,400	16,400			
実施 ス ケ ジ ュ ー ル	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	病児・病後児の保育施設の運営	→							
	周知活動	→							
取組 の 実 績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	利用可能者数（人）	864	/	960	960	960	960	960	年間開所日数（240日）×1日に受け入れ可能な人数（4人）
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	時点								
	時点								
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。
 ※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】生活機能の強化
【政策分野】医療・福祉
【施策名】子育て環境の充実

取組事項		ファミリーサポートセンター提供会員の相互利用							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○			○	○	○	○	
協定の内容	取組内容	安心して子育てができる環境を提供するため、ファミリーサポートセンターにおける提供会員の相互利用を推進する。							
	中心市の役割	連携市町と連携し、提供会員の情報を共有し、依頼会員へ提供する。							
	連携市町の役割	中心市と連携し、提供会員の情報を共有し、依頼会員へ提供する。							
現状と課題		伊勢市は単独（委託先：NPO法人三重みなみ子どもネットワーク）で、玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町（及び大台町）は広域連携（委託先：NPO法人三重県子どもNPOサポートセンター、運営者：NPO法人三重みなみ子どもネットワーク）で事業を実施している。利用にあたっての利便性向上に向けた提供会員の確保が課題となっている。							
事業の概要		子育ての手助けができる人（提供会員）を手助けが必要な人（依頼会員）の依頼に応じて紹介する事業について、各市町で実施する事業の充実に努めつつ、依頼会員の利便性向上を図るために、提供会員の相互利用の推進を図る。また、提供会員の援助内容についてHP・SNS等で紹介するなど周知を行うとともに、提供会員養成講座の開催により会員確保を図る。							
期待される効果		依頼会員への安定的なサービス提供と利便性向上を図ることができる。また、圏域において就労する人に、安心して子育てができる環境を提供することができる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		14,500	14,500	14,500	14,500	14,500			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	提供会員の情報共有	→							
	提供会員数の維持	→							
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値				指標の算出方法	
		R4	R5	R6	R7	R8	R9		R10
	提供会員数（人）	151	/	160	160	160	160	160	各ファミリーサポートセンター提供会員数の合計
	時点	R4年度末	R5年度末	R6年度末	R7年度末	R8年度末	R9年度末	R10年度末	
	利用者数（人）	1,052	/	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	各ファミリーサポートセンターでの利用者数の合計
	時点	R4年度末	R5年度末	R6年度末	R7年度末	R8年度末	R9年度末	R10年度末	
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。
※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】生活機能の強化
 【政策分野】医療・福祉
 【施策名】子育て環境の充実

取組事項		児童発達支援センターの設置、運営							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○	○	○	○	○	
協定の内容	取組内容	発達障がい児に対する重層的な地域支援体制を構築するため、児童発達支援センターを設置、運営する。							
	中心市の役割	連携市町と連携し、発達障がいを中心とした支援に必要な取組を行う。							
	連携市町の役割	中心市と連携し、設置、運営に必要な経費を負担する。							
現状と課題		令和6年4月施行の改正児童福祉法では、「児童発達支援センター」を地域の障がい児とその家族を支援する機関として、また、障害児通所支援事業所に対する中核的な機関として、機能の強化を図ることとされている。							
事業の概要		連携市町における中核的な支援機関として、伊勢市児童発達支援センターにおいて、専門的な知識に基づく技術的な助言・援助を障害児通所支援事業者等へ行う。また、通所事業や保育所等訪問支援事業、地域支援事業、相談支援事業を実施する。							
期待される効果		児童発達支援センターがその機能を発揮することにより、地域における障がい児支援の質の向上に繋がる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		46,000	46,000	46,000	46,000	46,000			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	通所事業、保育所等訪問支援事業の実施						→		
	地域支援事業の実施						→		
	相談支援事業の実施						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値				指標の算出方法	
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	通所事業、保育所等訪問支援事業の延べ利用者数（人）	4,667	/	4,680	4,680	4,680	4,680	4,680	通所事業、保育所等訪問支援事業の年間延べ利用者数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	事業者研修会の実施回数（回）	2	/	3	3	3	4	4	障害児通所支援事業者への研修会の年間実施回数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
家族支援事業の実施回数（回）	3	/	4	4	4	5	5	通所児童の保護者向け学習会等の年間実施回数	
時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度		
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】 生活機能の強化
 【政策分野】 産業振興
 【施策名】 商工業の振興

取組事項		伊勢志摩総合地方卸売市場の経営基盤の確立							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○	○	○		○	
協定の内容	取組内容	圏域消費者への生鮮食料品の安定供給及び生産者の安定的な販路の確保を図るため、伊勢志摩総合地方卸売市場の安定した経営基盤の確立を推進する。							
	中心市の役割	連携市町と連携し、伊勢志摩総合地方卸売市場の運営に関する調整及び支援を行う。							
	連携市町の役割	中心市と連携し、伊勢志摩総合地方卸売市場の運営に関する協議及び支援を行う。							
現状と課題		伊勢志摩総合地方卸売市場については、自立経営への転換を図り、民間主導の経営化を進めていくことが求められている。また、昭和57年に建設された施設については、老朽化が進んでいることから、修繕及び設備更新を計画的に実施する必要がある。							
事業の概要		持続可能な経営が可能となるよう、経営改善に取り組む。							
期待される効果		生産者には確実な販路を、流通・小売業者には生鮮食料品の安定的・効率的な取引の場を提供できる。消費者には「安心・安全」な生鮮食料品の安定した供給を行うことができる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		0	0	0	0	0			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	経営改善						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	繰越利益剰余金(千円)	80,797	/	96,500	101,500	106,500	111,500	116,500	卸売市場における繰越利益剰余金
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	時点								
	時点								
時点									
時点									
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。
 ※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】生活機能の強化
【政策分野】産業振興
【施策名】商工業の振興

取組事項		中小企業勤労者及び事業主への福利厚生事業の充実に向けた支援							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○		○				
協定の内容	取組内容	中小企業の振興を図るため、圏域の中小企業の勤労者及び事業主における勤労者福祉制度の充実に取り組む。							
	中心市の役割	連携市町と連携し、一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターの運営に関する協議及び支援を行うとともに、事業所等へ情報発信を行う。							
	連携市町の役割	中心市と連携し、一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターの運営に関する協議及び支援を行うとともに、事業所等へ情報発信を行う。							
現状と課題		当地域に所在する企業の大半は中小企業であるが、中小企業は独自に福利厚生事業を実施することが難しいことが多い。労働力人口が減少する中、人材確保、雇用定着を図る上でも福利厚生事業の充実が求められている。 福利厚生事業を提供する一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターの会員数は、令和元年度から減少しており、安定的な運営を行うため会員の維持確保が課題となっている。							
事業の概要		中小企業等の勤労者及び事業主の福利厚生事業を行う一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターに対し、事業運営に必要な補助金を交付する。また、充実したサービスを提供するため、会員の維持確保に向けて同センターの周知を行う。							
期待される効果		地域企業の人材確保及び勤労者の定着に繋がる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		13,284	13,284	13,284	13,284	13,284			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	サービスセンターの運営支援						→		
	広報活動						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	会員事業所数（社）	821	/	827	834	841	848	855	一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターにおける会員事業所数
	時点	R5.4.1	R6.4.1	R7.4.1	R8.4.1	R9.4.1	R10.4.1	R11.4.1	
	会員数（人）	5,082	/	5,100	5,150	5,200	5,250	5,300	一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターにおける会員数
	時点	R5.4.1	R6.4.1	R7.4.1	R8.4.1	R9.4.1	R10.4.1	R11.4.1	
	時点								
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】生活機能の強化
【政策分野】産業振興
【施策名】商工業の振興

取組事項		企業立地の推進							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○	○	○		○	
協定の内容	取組内容	圏域の経済活性化及び雇用の拡大を確保するため、企業立地を推進する。							
	中心市の役割	三重県と連携を図るとともに、連携市町と連携し、産業集積の形成及び地域経済の活性化を図るために必要な取組を行う。							
	連携市町の役割	中心市と連携し、産業集積の形成及び地域経済の活性化を図るために必要な取組を行う。							
現状と課題		三重県内では、道路交通網・リニア新幹線の整備状況から北勢方面への企業立地が盛んである。 伊勢志摩地域には大規模な工業団地がなく、個別にPRしても効果が薄い。 伊勢志摩地域が共同で企業誘致活動をし、操業環境を周知していくことが課題である。							
事業の概要		伊勢志摩地域へ企業を誘致するため、三重県が主催する企業セミナーで圏域の操業環境等のPRに取り組む。 また、工場等の新設及び増設等の設備投資による事業拡張を推進する。							
期待される効果		広域で連携して企業立地を促進することにより、圏域の経済活性化及び雇用の確保に繋がることが期待される。							
事業費（千円）		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
		356	356	356	356	356			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	三重県主催企業セミナーでのPR						→		
	工場等の設備投資支援						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	雇用が発生する設備投資件数（件）	35	/	20	20	20	20	20	半島振興法の確認申請を行った事業者のうち雇用が発生する設備導入を行った事業者の数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	雇用創出人数（人）	107	/	80	80	80	80	80	上記の設備投資に伴う雇用創出人数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	時点								
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。
※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】生活機能の強化
 【政策分野】産業振興
 【施策名】商工業の振興

取組事項		イベント等の誘致・開催							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○	○	○	○	○	○
協定の内容	取組内容	圏域内の多産業への経済波及と交流人口の拡大を図るため、連携市町、県、民間団体等が集客力・発信力の高いイベント等を誘致・開催する。							
	中心市の役割	各イベント等の誘致及び開催に取り組む組織等において、連携市町と連携し、必要な取組を行う。							
	連携市町の役割	各イベント等の誘致及び開催に取り組む組織等において、中心市と連携し、必要な取組を行う。							
現状と課題		令和7年に開催が予定されている大阪・関西万博や神宮式年遷宮関連行事の開始に伴う民族伝統行事の開催等を誘客の契機と捉え、継続的に圏域の魅力を発信することが求められている。							
事業の概要		圏域内の多産業への経済波及と交流人口の拡大を図るため、連携市町、県、民間団体等が集客力・発信力の高いイベント等を誘致・開催する。							
期待される効果		圏域内の多産業への経済波及が期待されるとともに、伊勢志摩圏域の魅力が国内外に発信されることによる交流人口の拡大等に繋がる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	イベントの誘致・開催						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	誘致活動数（働きかけた団体数）（件）	1	/	2	2	2	2	2	連携市町による誘致活動件数の合計
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	イベントの開催件数（件）	2	/	1	1	1	1	1	連携市町における全国規模のイベント開催件数の合計
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	時点								
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。
 ※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】生活機能の強化
 【政策分野】産業振興
 【施策名】商工業の振興

取組事項		創業に関する支援							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○	○	○	○	○	○
協定の内容	取組内容	産業の振興、雇用の創出を図るため、創業を支援する。							
	中心市の役割	連携市町及び関係機関等と連携し、創業に関する支援を行う。							
	連携市町の役割	中心市及び関係機関等と連携し、創業に関する支援を行う。							
現状と課題		これまで地域経済を支えてきた中小企業・小規模事業者の数が年々減少を続けており、地域の活力が失われつつある。また、進学や就職などの理由で地域を離れ愛知県等3大都市圏へ転出する若者が後を絶たず、人口減少に拍車をかけている。このような状況において、新たな地域経済の担い手を創出するため、創業の促進が求められている。							
事業の概要		産業の振興、雇用の創出を図るため、創業を支援する。							
期待される効果		圏域における創業を促進することで、新たな担い手による地域産業の振興及び雇用の創出に繋がる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		34,200	34,200	34,200	34,200	34,200			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	創業支援事業計画に定める創業セミナー等の開催						→		
	創業に関する情報の収集・発信、共有						→		
	創業希望者への補助の実施						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	創業セミナー等参加者数（人）	375	/	380	385	390	395	400	創業支援事業計画に定める創業セミナー等への参加者の年間延べ人数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	創業希望者への補助件数（件）	39	/	40	42	44	46	48	創業希望者に対する補助金（利子補給及び保証料補給を除く）の交付件数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
時点									
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。
 ※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】生活機能の強化
 【政策分野】産業振興
 【施策名】農林漁業の振興

取組事項		鳥獣被害防止対策							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○	○	○	○	○	○
協定の内容	取組内容	有害鳥獣による農作物等への被害を防止するため、鳥獣被害対策を推進する。							
	中心市の役割	連携市町と連携し、鳥獣被害防止対策に必要な取組を行う。							
	連携市町の役割	中心市と連携し、鳥獣被害防止対策に必要な取組を行う。							
現状と課題		鳥獣被害防止対策は各市町において積極的に取り組んでいるが、有害鳥獣の繁殖率は高く、農作物等への被害に苦慮している状況である。今後も各市町での取組を進めながらも、圏域で連携・協力しながら鳥獣被害防止対策を実施していくことが有効である。							
事業の概要		有害鳥獣による農林水産業被害を防止するため、目撃情報の共有など、市町が連携して対策を実施する。							
期待される効果		市町が連携して対策を実施することにより、効果的な被害防止を図ることができる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		101,000	101,000	101,000	101,000	101,000			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	連携市町間での情報共有	→							
	連携して行う事業の検討	→							
	連携して行う事業の実施			→					
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	鳥獣被害額（千円）	39,727	/	38,153	37,390	36,642	35,909	35,190	連携市町での獣害被害額の合計
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	時点								
	時点								
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。
 ※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】生活機能の強化
 【政策分野】産業振興
 【施策名】観光の振興

取組事項		伊勢志摩地域への旅客誘致							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○	○	○		○	○
協定の内容	取組内容	伊勢志摩地域への旅客誘致を図り、伊勢志摩地域の情報発信、修学旅行の誘致等の取組を行う。							
	中心市の役割	公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構における連携事業を中心とし、連携市町と連携し、必要な取組を行う。							
	連携市町の役割	公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構における連携事業を中心とし、中心市と連携し、必要な取組を行う。							
現状と課題		新型コロナの制限緩和に伴い、国内外ともに、旅行者の動きもコロナ禍に比べ大きく活発化しているが、観光産業の完全回復までには至っていない。伊勢志摩地域の観光客を増加させるには、引き続き、地域が一体となって取り組むことが重要である。実施する事業については随時見直すとともに、大阪・関西万博や次期式年遷宮も視野に入れて積極的に進める必要がある。							
事業の概要		伊勢志摩地域の情報発信、修学旅行等の誘致、伊勢志摩観光振興プランの策定や、次期式年遷宮を見据えた事業等を実施し、伊勢志摩地域への旅客誘致を図る。また、観光型MaaS事業の実施により伊勢志摩地域の観光DXを推進する。 インバウンド事業については、大阪・関西万博を契機と捉え、高付加価値化事業の実施による滞在の長期化や消費促進などを図る。							
期待される効果		伊勢志摩地域の魅力創出・発信を行うことにより、伊勢志摩地域への観光客の増加に繋がる。							
事業費（千円）		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
		71,650	71,650	71,650	71,650	71,650			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	観光情報の発信						→		
	高付加価値化事業						→		
	観光型MaaS事業						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値				指標の算出方法	
		R4	R5	R6	R7	R8	R9		R10
	旅客数（万人）	2,123	2,267	2,267	2,411	2,668	2,958	2,996	連携市町における観光レクリエーション入込客数の合計 （三重県観光レクリエーション入込客数推計書）
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	時点								
	時点								
時点									
備考		・伊勢志摩観光コンベンション機構：伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、南伊勢町、明和町、多気町、松阪市、三重県他民間団体 ※成果指標及び目標値については、今年度策定予定の伊勢志摩観光振興プラン（令和6～10年度）の内容の確定により変更する可能性があります。							

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】生活機能の強化
 【政策分野】産業振興
 【施策名】観光の振興

取組事項		伊勢熊野地域への旅客誘致							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○		○		○		
協定の内容	取組内容	伊勢・熊野地域への旅客誘致を図り、お伊勢参りと熊野詣でに関する情報発信等の取組を行う。							
	中心市の役割	伊勢熊野観光連絡協議会の事務局運営を行うとともに、連携市町と連携し、必要な取組を行う。							
	連携市町の役割	伊勢熊野観光連絡協議会の構成団体として中心市と連携し、必要な取組を行う。							
現状と課題		コロナ禍の影響により減少した伊勢熊野地域来訪者数の回復のため、外国人観光客への訴求も視野に入れた受入環境整備にも意識を置きつつ、令和6年度の熊野古道世界遺産登録20周年を契機に、伝統・文化を担う次世代の育成及び伊勢熊野地域への来訪意欲向上に資する取組を、協議会構成団体と連携しながら推進していく必要がある。							
事業の概要		熊野古道の世界遺産登録20周年を契機として、国内だけでなく国外も視野に入れた、お伊勢参りと熊野詣でを目的とした旅客の誘致を行い、協議会構成団体間の相互の情報交換及び情報発信に取り組む。							
期待される効果		伊勢熊野地域の魅力創出・発信を行うことにより、伊勢熊野地域への観光客の増大に繋がる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		300	300	300	300	300			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	観光パンフレットの作成・増刷						→		
	ノベルティの作成						→		
	PRイベントの開催						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	熊野古道来訪者数（人）	290,905	/	390,000	410,000	440,000	470,000	500,000	熊野古道伊勢路来訪者数推計値 （一般社団法人東紀州地域振興公社）
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	時点								
	時点								
時点									
時点									
備考		協議会構成団体：伊勢市、鳥羽市、玉城町、多気町、大台町、大紀町、紀北町、尾鷲市、熊野市、紀宝町、新宮市、那智勝浦町、太地町、田辺市							

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。
 ※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】生活機能の強化

【政策分野】産業振興

【施策名】観光の振興

取組事項		伊勢志摩国立公園の自然保護、PR、地域振興							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○				○	
協定の内容	取組内容	伊勢志摩国立公園の自然保全及び地域振興を図るため、情報発信、自然観察、清掃活動等の取組を行う。							
	中心市の役割	一般財団法人伊勢志摩国立公園協会、伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会を活用するなどし、連携市町と連携し、必要な取組を行う。							
	連携市町の役割	一般財団法人伊勢志摩国立公園協会、伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会を活用するなどし、中心市と連携し、必要な取組を行う。							
現状と課題		令和3年3月に策定した「ステップアッププログラム2025」に基づき、環境整備を進めると同時に、国立公園指定80周年（令和8年）も見据え、連携市町及び民間事業者が連携し、国立公園地域へ観光客を惹きつける取組を行う必要がある。							
事業の概要		調査研究、保護維持、開発改善、紹介宣伝、目的を同じくする他団体との情報共有のほか、案内ガイド育成を含む自然ふれあい活動の促進、美化清掃、横山ビジターセンターの管理運営等に取り組む。また、国立公園満喫プロジェクトの開始に伴い、地域協議会で作成した「ステップアッププログラム」の達成に必要な活動に取り組む。							
期待される効果		外国人を含む伊勢志摩地域の自然を目的に訪れる観光客が増加することに繋がる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		290,000	290,000	290,000	290,000	290,000			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	伊勢志摩国立公園ステップアッププログラムに基づく取組						→		
	横山ビジターセンターの管理運営						→		
	清掃活動、自然観察会等の実施						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値				指標の算出方法	
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	伊勢志摩国立公園の訪日外国人利用者数（人）	71,000	/	71,000	71,000	71,000	71,000	71,000	伊勢志摩国立公園の訪日外国人利用者数推計値（国立公園訪日外国人利用者数推計値（環境省））
	時点	R1年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	横山ビジターセンターの利用者数（人）	47,363	/	48,000	48,000	49,000	49,000	50,000	横山ビジターセンターの年間利用者数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
自然観察会の参加者数（人）	281	/	280	280	290	290	290	伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会による自然観察会の年間参加者数	
時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度		
備考		成果指標「伊勢志摩国立公園の訪日外国人利用者数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により環境省の調査が中止されたため、令和2年度から4年度の数値なし。（令和5年度から再開予定）							

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】生活機能の強化

【政策分野】その他

【施策名】自転車の活用推進

取組事項		自転車を活用したまちづくり							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○	○	○	○	○	○
協定の内容	取組内容	観光振興、健康の増進、安心・安全利用、環境への負荷の低減等の公共の利益増進に向けて、自転車を活用した取り組みを行う。							
	中心市の役割	自転車を活用したまちづくりに取り組む組織等において、連携市町と連携し、必要な取組を行う。							
	連携市町の役割	自転車を活用したまちづくりに取り組む組織等において、中心市と連携し、必要な取組を行う。							
現状と課題		ナショナルサイクルルートに指定された太平洋岸自転車道や各市町の交通の結節点などにおいて、安全で快適な自転車の通行環境の確保が必要である。このことから、令和4年度に伊勢志摩地域における自転車等活用検討会を設立し、生活及び観光の交通手段として自転車活用に向けた取組の検討を進めている。							
事業の概要		伊勢志摩地域自転車等活用推進計画を策定し、広域による推進体制のもと、サイクルツーリズムの推進や自転車通行空間の確保、健康づくりの啓発、安全利用の促進など、地域一体で自転車を活用した取組を行う。							
期待される効果		自転車の活用により、観光振興、健康の増進、安心・安全利用、環境への負荷の低減等の公共の利益増進が期待できる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		17,400	16,400	16,400	16,400	18,400			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	自転車等活用推進計画に基づく取組	—————▶							
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	レンタサイクル等の貸出数（台）	6,200	/	6,800	7,300	7,600	7,800	8,100	連携市町の貸出数の合計
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	市町主導のサイクルルート設定数（ルート）	4	/	4	5	7	9	10	連携市町のサイクルルート設定数の合計
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
自転車関連交通事故件数（件）	352	/	345	338	331	324	315	連携市町の自転車関連交通事故件数の合計	
時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度		
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】結びつきやネットワークの強化

【政策分野】公共交通

【施策名】交通ネットワークの充実

取組事項		廃止代替路線バスの維持							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○			○				
協定の 内容	取組内容	圏域住民の交通手段を確保するため、廃止代替路線バスの維持を推進する。							
	中心市の役割	連携市町と連携し、相互の地域関係住民の意見を調整し、推進に必要な取組を行う。							
	連携市町の役割	中心市と連携し、相互の地域関係住民の意見調整に協力し、推進に必要な取組を行う。							
現状と課題		新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少し、徐々に回復傾向ではあるが、コロナ禍前の状況には戻っていない。また、運行経費の増加や運転手不足などの課題がある。							
事業の概要		地域住民の交通手段を確保するため、利用促進を行いながら伊勢玉城線の運行を維持する。							
期待される効果		交通手段を有しない交通弱者(高齢者等)が、通学、通院、通勤等の交通手段の確保ができる。また、伊勢神宮等に訪れた観光客等を田丸城跡などの観光資源への誘客により、周辺地域の活性化と回遊性の向上が期待できる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費(千円)		9,300	9,300	9,300	9,300	9,300			
実施 ス ケ ジ ュ ー ル	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	伊勢玉城線の運行維持	—————→							
取組 の 実 績	成果指標(単位)	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	利用者数(人)	32,300	/	33,800	33,800	33,800	33,800	33,800	伊勢玉城線の年間推計輸送人員 (三交伊勢志摩交通(株))
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	時点								
	時点								
時点									
時点									
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額(見込)の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】結びつきやネットワークの強化

【政策分野】公共交通

【施策名】交通ネットワークの充実

取組事項		コミュニティバス運行の連携							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○			○	○			○
協定の内容	取組内容	圏域住民の交通手段を確保するため、コミュニティバス等交通ネットワークの充実を推進する。							
	中心市の役割	連携市町と連携し、相互の地域関係住民の意見を調整し、推進に必要な取組を行う。							
	連携市町の役割	中心市と連携し、相互の地域関係住民の意見調整に協力し、推進に必要な取組を行う。							
現状と課題		新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少し、徐々に回復傾向ではあるが、コロナ禍前の状況には戻っていない。また、運行経費の増加や運転手不足等の要因もあり、地域公共交通の維持には、効果的、効率的な運行が必要となっている。 AI配車システムを活用したAIオンデマンド交通などについての調査・研究を行いながら、広域連携の可能性について協議を進めていく必要がある。							
事業の概要		圏域住民の移動手段を確保するため、利便性が高く、効率的なアクセス方法を検討・検証しながら、生活圏に合わせた複数市町の連携による運行を行う。							
期待される効果		圏域全体で多様な交通手段も含め、効率的・効果的なコミュニティバス運行のあり方を検討することで、圏域住民の生活交通の確保と利便性向上及び地域間の交通ネットワーク強化が期待できる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		63,900	63,900	63,900	63,900	63,900			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	コミュニティバスの連携についての協議						→		
	コミュニティバス相互利用の実施						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値				指標の算出方法	
		R4	R5	R6	R7	R8	R9		R10
	利用者数（人）	36,600	/	36,600	36,600	36,600	36,600	36,600	年間利用者数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	時点								
時点									
備考		<ul style="list-style-type: none"> 福祉バスの運行（玉城町） 玉城町保健福祉会館～伊勢市小俣図書館の輸送 沼木バス（デマンド）の運行（伊勢市） 度会町のスーパーを経由、度会町との連携（川口～南伊勢高校校舎前） 町営バスの運行（度会町） 町営バスと沼木バスの接続（グッディなど）と連携 おかげバスの運行（伊勢市） 「東大淀・明野・小俣線」の明和町（山大淀）までの運行区間延長 町民バスの運行（明和町） 町民バス（大淀ルート）とおかげバスの接続（大淀、山大淀） 							

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】結びつきやネットワークの強化

【政策分野】公共交通

【施策名】道路網の整備促進

取組事項		県道鳥羽松阪線の建設促進							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○						
協定の内容	取組内容	生活圏の拡大と利便性の向上などを図り、相互を結ぶ県道鳥羽松阪線伊勢鳥羽地区の道路整備事業を推進する。							
	中心市の役割	連携市町と連携し、相互の地域関係住民の意見を調整し、推進に必要な取組を行う。							
	連携市町の役割	中心市と連携し、相互の地域関係住民の意見調整に協力し、推進に必要な取組を行う。							
現状と課題		県道鳥羽松阪線の伊勢市から鳥羽市の区間は、道路幅も狭く交通量の増加により渋滞が発生していることから、事業の早期完成を目指して昭和53年度に県道鳥羽松阪線伊勢鳥羽地区改良促進連絡協議会を設置した。未完成区間は三重県伊勢建設事務所管内の430m（R23号楠部町交差点付近～五十鈴川左岸堤防付近）のみとなっている。							
事業の概要		伊勢市、鳥羽市及び地元関係住民相互間の連絡調整を図り、道路管理者である三重県に要望活動を行う。							
期待される効果		相互間の所要時間短縮及び交通安全対策を図ることができる。また、そのことにより、生活圏の拡大と利便性が向上する。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		20	20	20	20	20			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	要望活動						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	要望活動（回）	1	/	1	1	1	1	1	要望活動実施回数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	時点								
	時点								
時点									
時点									
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】結びつきやネットワークの強化

【政策分野】公共交通

【施策名】道路網の整備促進

取組事項		県道伊勢南島線の建設促進							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○				○		○	
協定の内容	取組内容	生活圏の拡大と利便性の向上などを図り、相互を結ぶ県道伊勢南島線の道路整備事業を推進する。							
	中心市の役割	連携市町と連携し、相互の地域関係住民の意見を調整し、推進に必要な取組を行う。							
	連携市町の役割	中心市と連携し、相互の地域関係住民の意見調整に協力し、推進に必要な取組を行う。							
現状と課題		県道伊勢南島線は地域の発展に極めて重要な役割があるが、道路幅が狭く、交通量の増加により交通事故や渋滞が発生していることから、事業の早期完成を目指して昭和62年度に伊勢南島線道路改良促進期成同盟会を設置した。新野見坂トンネル開通、津村バイパス供用開始により利便性は向上したが、度会町地内の局所的な浸水や雨量による通行規制に起因した交通網の分断、伊勢市中島2丁目地内から津村町地内までの区間の歩道未整備等の課題が残っている。							
事業の概要		同盟会の意見をとりまとめ、道路管理者である三重県との情報共有及び危険箇所等の勉強会を行う。							
期待される効果		相互間の所要時間短縮及び交通安全対策を図ることができる。また、そのことにより、生活圏の拡大と利便性が向上する。							
事業費（千円）		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
		3	3	3	3	3			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	勉強会						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	勉強会（回）	1	/	1	1	1	1	1	勉強会実施回数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	時点								
時点									
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】 結びつきやネットワークの強化

【政策分野】 公共交通

【施策名】 道路網の整備促進

取組事項		宮川架橋の建設促進							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○			○	○			
協定の内容	取組内容	生活圏の拡大と利便性の向上などを図り、相互を結ぶ宮川架橋の道路整備事業を推進する。							
	中心市の役割	連携市町と連携し、相互の地域関係住民の意見を調整し、推進に必要な取組を行う。							
	連携市町の役割	中心市と連携し、相互の地域関係住民の意見調整に協力し、推進に必要な取組を行う。							
現状と課題		宮川には橋梁の本数が少なく、南伊勢大橋と度会橋とは約7.2km離れており、その間に橋はない。このため、通勤時間帯には、度会橋で慢性的に渋滞が発生している。また、県道伊勢南島線は、度会町と伊勢市内で冠水し自然災害に対しても脆弱な道路ネットワークとなっている。伊勢度会地域の「命の道」を確保するため、南伊勢大橋と度会橋とのほぼ中間点に新たな橋を建設することを目的として、平成21年に宮川架橋建設推進協議会を設立した。							
事業の概要		宮川架橋の早期実現を図るため、必要な資料の収集や分析を行い、要望活動を行う。							
期待される効果		相互の連携・交流をより一層推進でき、地域住民の安全・安心な暮らしが守られる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		50	50	50	50	50			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	要望活動	—————→							
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	要望活動（回）	1	/	1	1	1	1	1	要望活動実施回数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	時点								
	時点								
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】 結びつきやネットワークの強化

【政策分野】 公共交通

【施策名】 道路網の整備促進

取組事項		伊勢志摩連絡道路の建設促進							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○				○	
協定の内容	取組内容	生活圏の拡大と利便性の向上などを図り、相互を結ぶ伊勢志摩連絡道路の道路整備事業を推進する。							
	中心市の役割	連携市町と連携し、相互の地域関係住民の意見を調整し、推進に必要な取組を行う。							
	連携市町の役割	中心市と連携し、相互の地域関係住民の意見調整に協力し、推進に必要な取組を行う。							
現状と課題		一般国道167号並びに県道伊勢磯部線（伊勢道路）は、交通量の増加により慢性的に渋滞が発生しており、特に観光シーズンには、円滑な通行に支障が出ている。その解消のためには新しい道路が必要であるとして、平成5年に伊勢志摩連絡道路建設促進同盟会を設立した。第二伊勢道路が平成25年9月に、鵜方磯部バイパスが平成29年12月に供用開始となり、磯部バイパスは、令和6年度供用開始を目指している。今後、磯部バイパス及び未整備区間の早期完成が望まれる。							
事業の概要		同盟会の意見をとりまとめ、国及び三重県に要望活動を行う。							
期待される効果		相互間の所要時間短縮及び交通安全対策が図られる。また、そのことにより、生活圏の拡大と利便性が向上する。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		150	150	150	150	150			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	要望活動						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	要望活動（回）	1	/	1	1	1	1	1	要望活動実施回数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	時点								
時点									
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】 結びつきやネットワークの強化

【政策分野】 公共交通

【施策名】 観光交通の渋滞緩和

取組事項		伊勢地域周辺における交通渋滞の緩和							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○					
協定の内容	取組内容	伊勢地域周辺における交通渋滞の緩和を図るため、交通渋滞に関する調査研究、駐車場対策及びパーク&バスライドの実施など、交通渋滞の緩和を推進する。							
	中心市の役割	連携市町及び関係団体と連携し、交通渋滞を緩和するために必要な取組を行う。							
	連携市町の役割	中心市及び関係団体と連携し、伊勢地域の交通情報を共有するとともに、観光客への情報提供等を行う。							
現状と課題		公共交通機関の利用促進や交通渋滞の発生が予想される場合における交通規制、パーク&バスライド実施などにより、内宮周辺及び外宮周辺の交通渋滞の緩和や発生抑止はされているが、依然として解消に至っていないことから、来訪者のみならず、地域住民の生活や周辺市町への交通にも支障を来している。							
事業の概要		伊勢地域周辺における交通渋滞の緩和を図るため、交通渋滞に関する調査研究、駐車場対策及びパーク&バスライドの実施、交通情報の共有など、交通渋滞の緩和を推進する。							
期待される効果		観光交通の渋滞を緩和することで、伊勢地域周辺の交通環境の確保と訪問する観光客の快適性が向上する。							
事業費（千円）		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
		49,200	49,200	49,200	49,200	49,200			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	交通渋滞対策の実施						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	御木本道路1km以上の渋滞発生日数（日）	8	/	12以下	12以下	12以下	12以下	12以下	御木本道路における1km以上の年間渋滞発生日数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
時点									
時点									
備考		御木本道路（伊勢西IC方面から）の宇治浦田町交差点から1km以上の渋滞発生日数を計測する。							

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】結びつきやネットワークの強化

【政策分野】地域の生産者、消費者等の連携による地産地消

【施策名】地産地消の推進及び地場産品のPR推進

取組事項		地産地消の推進及び地場産品のPR							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○	○	○	○	○	○
協定の内容	取組内容	農林水産物の消費拡大を図るため、地産地消及び農林水産物のPRを推進する。							
	中心市の役割	連携市町及び関係団体と連携し、地産地消及び農林水産物のPRを推進するために必要な取組を行う。							
	連携市町の役割	中心市及び関係団体と連携し、地産地消及び農林水産物のPRを推進するために必要な取組を行う。							
現状と課題		農林水産物の就業人口は高齢化等により減少傾向にある。圏域内では安心・安全な地元の食材供給を促進し、圏域外には積極的にPRすることで消費の拡大を図り、地域農林水産物を活性化させることが課題となっている。							
事業の概要		農林水産物の消費拡大を図るため、地産地消及び農林水産物のPRを推進する。							
期待される効果		圏域内農林水産物の消費拡大による就業者の経営安定、地域農林水産物の活性化を図る。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		4,700	4,700	4,700	4,700	4,700			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	連携して行う事業の検討						→		
	漁獲物の移動販売、漁協交流イベント・勉強会						→		
	地産地消の学校給食						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	地場産品PR活動の実施回数（回）	10	/	15	19	19	23	23	連携市町間で共同で実施した地場産品のPR活動の実施回数（連携した市町の延べ数）
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	時点								
	時点								
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】結びつきやネットワークの強化

【政策分野】地域内外の住民との交流

【施策名】地域情報の共有化及び発信

取組事項		圏域内外への地域情報等の情報発信							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○	○	○	○	○	○
協定の内容	取組内容	圏域における地域情報を共有化し、圏域の内外へ相互自治体の情報発信媒体を活用し、情報発信を図る。							
	中心市の役割	伊勢市及び連携市町の地域における情報等を集約し、情報発信可能な事実の把握及び整理を行い、連携市町へ提供する。							
	連携市町の役割	情報発信媒体への掲載事項について中心市へ情報提供する。							
現状と課題		各市町の広報紙やCATVでの合同記事掲載などに取り組んでおり、更なる圏域情報の共有・情報発信を行って圏域の一体感を醸成していく必要がある。 また、人口減少は圏域全体の課題であることから、移住の促進を図るため、「伊勢志摩」の知名度を生かし、令和4年度から連携市町合同で移住セミナーへ参加しているところである。移住を検討される方の琴線に触れるような情報発信をするべく、継続して連携していく必要がある。							
事業の概要		各市町からの地域情報を共有し、各市町のホームページやCATVで相互に情報を発信するほか、広報紙やCATVで合同記事を企画・掲載し、圏域での一体感のある情報発信を行う。 また、連携市町合同での移住セミナー参加を継続するとともに、伊勢志摩の知名度を生かし連携して魅力ある情報を発信する。							
期待される効果		圏域住民の活発な交流の促進が図られるとともに、地域振興や観光振興、圏域住民の郷土愛や圏域の一体感の醸成に繋がる。伊勢志摩の知名度を生かしながら連携して圏域全体の魅力や住みやすさ等をPRすることで、圏域への移住・定住の促進に繋がる。							
事業費（千円）		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R9年度	R10年度	R10年度	R10年度
		953	953	953	953	953	953	953	953
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R9年度	R10年度	R10年度	R10年度
	情報集約・情報発信	→							
	移住イベント等PRの連携	→							
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	圏域内外への地域情報等の情報発信（回）	22	/	25	25	25	25	25	地域情報等の合同発信回数等
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	移住イベント等PRの連携回数（回）	1	/	2	2	2	2	2	三重県主催等の移住イベントへの合同参加回数
時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度		
	時点								
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】結びつきやネットワークの強化

【政策分野】地域内外の住民との交流

【施策名】出会い・結婚への支援

取組事項		出会い・結婚に関する情報提供等							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○	○	○	○	○	○
協定の内容	取組内容	出会い・結婚の希望をかなえるため、情報提供、相談への対応、セミナー開催など、出会い・結婚に関する支援を行う。							
	中心市の役割	連携市町と連携し、出会い・結婚への支援に必要な取組を行う。							
	連携市町の役割	中心市と連携し、出会い・結婚への支援に必要な取組を行う。							
現状と課題		人口減少が進む中、少子化対策が求められている。少子化の要因の一つに晩婚化・非婚化が挙げられる。結婚していない理由として「出会いがない」「理想の相手に出会っていない」ことがアンケート調査等の結果として出ている。今後、地域の活性化のためには、結婚を望む人が結婚でき、安心して子育てができる社会づくりが必要である。							
事業の概要		「いせ出会い支援センター」を拠点として、結婚に向けた相談、出会いの機会の創出や情報提供を行う。また、従業員の出会い・結婚を支援する企業のネットワーク「いせむすび」についても登録企業に情報提供を行い、従業員の出会いの機会に繋げていく。							
期待される効果		圏域全体を対象とすることで出会いの機会を多く提供できるなど、より広範囲での出会いが期待できる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		23,000	23,000	23,000	23,000	23,000			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	出会い・結婚に関する相談対応						→		
	出会いの機会の創出						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値				指標の算出方法	
		R4	R5	R6	R7	R8	R9		R10
	センターの利用件数（件）	3,288	/	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	センターへの来所、電話、メールによる利用件数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	出会いのイベント開催数（回）	3	/	3	3	3	3	3	センターが開催する出会いイベント数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	婚活イベント情報提供件数（件）	70	/	70	70	70	70	70	従業員の出会い・結婚を支援する企業ネットワーク「いせむすび」に情報提供するイベント数
時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度		
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】結びつきやネットワークの強化

【政策分野】その他

【施策名】図書館サービスの充実

取組事項		図書館サービスの更なる充実に向けた仕組みの構築							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○	○	○	○	○	○
協定の内容	取組内容	図書館サービスの充実を図るため、公共図書館が連携し、利用者の利便性向上に向けた新たなサービスの仕組みを構築する。							
	中心市の役割	連携市町と連携し、新たなサービスの仕組みを検討及び構築する。							
	連携市町の役割	中心市と連携し、新たなサービスの仕組みの構築に係る協議及び検討を行い、構築に向けて協力を行う。							
現状と課題		令和2年6月1日をもって圏域内のすべての公共図書館において、圏域内の住民であれば利用者登録ができる仕組みが構築されている。新型コロナウイルス感染症の影響や電子書籍の登場など社会情勢の変化により、利用者が図書館で本を借りる冊数が減少している。今後、利用者の利便性向上に向け、新たな仕組みづくりを検討していく必要がある。							
事業の概要		構築した仕組み（圏域内の住民であれば、利用者登録を行えば本を借りることができる）について、より一層の周知を図る。また、一部の市町で導入が始まっている電子図書館について、圏域全体でサービスを展開できないか、検討を行う。							
期待される効果		公共図書館の連携により、圏域住民の利用環境が向上するとともに、運営の効率化が図られる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		0	0	0	0	0			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	サービス内容の周知						→		
	新たな仕組みづくりの検討						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	圏域住民への蔵書の貸出冊数（冊）	104,563	/	105,000	107,000	109,000	111,000	113,000	連携市町の公共図書館における圏域住民（自市町を除く）への貸出冊数の合計
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	時点								
	時点								
時点									
時点									
備考		大紀町は公共図書館なし							

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】結びつきやネットワークの強化

【政策分野】その他

【施策名】宮川流域の保全・活用

取組事項		宮川流域の環境保全・情報発信							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○			○	○	○		○
協定の内容	取組内容	宮川流域の環境保全及び魅力を伝えるための情報発信等を行う。							
	中心市の役割	流域市町である連携市町と連携し、宮川流域の保全・活用に必要な取組を行う。							
	連携市町の役割	流域市町である中心市と連携し、宮川流域の保全・活用に必要な取組を行う。							
現状と課題		伊勢志摩定住自立圏内に流れる一級河川の宮川は、国土交通省が実施する「全国一級河川の水質現況」において、「水質が最も良好な河川」に選出されるほど全国有数の清流であり、流域は豊かな自然や歴史・伝統、特色ある文化に恵まれた地域である。このすばらしい宮川流域を住民、事業者、行政が協力して次世代に引き継いでいくことが求められている。							
事業の概要		県及び1市6町（圏域外含む）で組織される宮川流域ルネッサンス協議会に参画する市町において、宮川流域の環境保全及びその魅力を伝えるための情報発信等に連携して取り組む。							
期待される効果		住民の宮川流域への関心が高まり、環境問題への意識啓発や、魅力ある流域づくりに繋がることが期待される。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		47,000	47,000	47,000	47,000	47,000	47,000		
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	宮川の保全・活用のための事業実施						→		
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	宮川流域の環境保全のための清掃活動実施回数（回）	-	2	2	2	2	2	2	連携市町における清掃活動実施回数の合計
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	宮川を活用したイベントへの来場者数（人）	-	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	連携市町におけるイベントへの来場者数の合計
時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度		
宮川をフィールドとした校外学習実施回数（回）	55	/	55	55	55	55	55	連携市町における校外学習実施回数の合計	
時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度		
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】結びつきやネットワークの強化

【政策分野】その他

【施策名】消費生活相談体制の強化

取組事項		消費生活センターの広域化							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○	○		○	○	
協定の 内容	取組内容	消費生活センターを維持運営し、消費者トラブルの早期解決・未然防止を図る。							
	中心市の役割	伊勢市消費生活センターを運営し、消費者からの相談対応を行うとともに、連携市町と連携し、消費生活に係る啓発・情報発信を行う。							
	連携市町の役割	運営に必要な経費を負担するとともに、中心市と連携し、消費生活に係る啓発・情報発信を行う。							
現状と課題		消費者安全法では、各市町村に消費生活に係る相談対応のため、消費生活相談員の配置を求めているが、各市町が単独で体制を整備することは難しい状況であることから、令和4年4月1日から広域連携による消費生活相談体制を確保した。消費者から寄せられる相談内容は年々、高度化・複雑化しており、これに対応し消費者の安全・安心を確保するためには、相談員の専門性を高めるなど相談体制の強化が必要である。また、消費者被害の未然防止の観点から、連携市町在住の消費者に対し、効果的な消費者教育・啓発を連携して行っていく必要がある。							
事業の概要		伊勢市消費生活センターを広域の相談窓口として維持・運営し、連携市町に在住する消費者からの相談対応や、消費生活に係る啓発・情報発信を行い、消費者トラブルの早期解決・未然防止を図る。							
期待される効果		連携市町に在住する消費者の消費生活に関する知識や意識の向上、消費者トラブルの早期発見・解決、未然防止に繋がる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		12,140	12,140	12,140	12,140	12,140			
実施 スケ ジュー ール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	消費生活センターの維持・運営						→		
取組 の実 績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値				指標の算出方法	
		R4	R5	R6	R7	R8	R9		R10
	消費生活にかかる相談対応件数（件）	1,281	/	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	消費生活センターにおける相談対応件数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	消費生活にかかる啓発回数（回）	150	/	152	154	156	158	160	連携市町における消費生活出前講座・イベント出展回数、広報紙・HP等での情報発信回数の合計
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
時点									
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】結びつきやネットワークの強化

【政策分野】その他

【施策名】インクルーシブスポーツ環境の充実

取組事項		インクルーシブスポーツの普及啓発							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○	○	○	○	○	○
協定の内容	取組内容	共生社会の実現に向け、インクルーシブスポーツの推進を図る。							
	中心市の役割	連携市町と連携し、インクルーシブスポーツのイベント、講習会、研修会等を開催し、インクルーシブスポーツの普及啓発を図る。							
	連携市町の役割	中心市と連携し、インクルーシブスポーツの普及啓発を図る。							
現状と課題		伊勢市パラスポーツ協会などの関係団体と連携し、イベント等を開催するなど、インクルーシブスポーツの普及啓発に努めているが、圏域住民の認知度はまだ低い状況にあることから、関係団体との連携を強化し、様々な視点から、更なる普及啓発に取り組んでいく必要がある。							
事業の概要		インクルーシブスポーツの普及啓発を進めるため、イベント、講習会、研修会等を開催する。 なお、開催にあたっては、伊勢市パラスポーツ協会や伊勢市障害者団体連合会、大学等とも連携し実施する。							
期待される効果		市町が連携することで、圏域住民にインクルーシブスポーツの効果的な普及啓発を図ることができる。また、学生の参画により、次世代育成の効果が期待できる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		1,500	1,700	2,000	2,000	2,000			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	インクルーシブスポーツイベントの実施	→							
	インクルーシブスポーツ講演会・研修会等の実施	→							
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値				指標の算出方法	
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	インクルーシブスポーツイベントの連携実施回数（回）	0	0	1	1	2	2	2	圏域内で連携して実施されたインクルーシブスポーツイベントの回数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	インクルーシブスポーツ講演会・研修会等の連携実施回数（回）	0	0	0	1	1	1	1	圏域内で連携して実施されたインクルーシブスポーツ講演会・研修会等の回数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	時点								
備考		インクルーシブスポーツ・・・障がいの有無や年齢、性別、国籍等を問わず、誰もが同じ空間で楽しむことのできるスポーツのこと（例：ボッチャ等）							

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】圏域マネジメント能力の強化

【政策分野】人材育成

【施策名】圏域市町職員・教職員の人材育成

取組事項		職員研修の合同開催							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○	○	○	○	○	○
協定の内容	取組内容	圏域における職員の能力及び資質向上を図るため、合同で研修を実施する。							
	中心市の役割	圏域で実施することが効果的な職員向けの研修を企画、実施する。							
	連携市町の役割	中心市が実施する職員向けの研修に参加するとともに、研修の運営に協力する。							
現状と課題		圏域住民への行政サービスの向上のために、地域を牽引する人材の育成が必要である。各市町それぞれにおいて研修計画を策定し実施することが基本となるが、研修によっては各市町でそれぞれ実施するには対象人数など費用対効果の関係で実施できない研修もある。							
事業の概要		各市町単体では実施できない研修を、連携市町職員が参加可能な合同研修として実施することで、連携市町職員の研修機会の充実・研修事業の効率化を図る。							
期待される効果		職員の能力と資質の向上及び研修を合同で実施することによる効率化、市町間における職員の連携強化に繋がる。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		384	384	384	384	384			
実施スケジュール	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	合同研修の実施	→							
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	合同研修の開催回数（回）	27	/	30	30	30	30	30	連携市町の職員が参加可能な研修の開催回数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	合同研修への参加者数（人）	31	/	35	35	35	35	35	連携市町からの参加職員数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	時点								
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】圏域マネジメント能力の強化

【政策分野】人材育成

【施策名】圏域市町職員・教職員の人材育成

取組事項		教職員研修講座の実施							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○	○	○	○	○	
協定の内容	取組内容	圏域における教職員の能力及び資質向上を図るため、合同で研修を実施する。							
	中心市の役割	圏域で実施することが効果的な教職員向けの研修を企画、実施する。							
	連携市町の役割	中心市が実施する教職員向けの研修に参加するとともに、研修の運営に協力する。							
現状と課題		伊勢市教育研究所が開催する研修講座には、以前から連携市町の教職員も参加している。今後は、働き方改革（総勤務時間の縮減）の観点から、講座数を増やしていくことは難しいと考えられるため、実施方法を工夫しながら「今日的教育課題」をテーマに、ステージ別の質の高い魅力ある研修講座を開催する必要がある。							
事業の概要		教職員等を対象とした研修講座等を開催し、教職員の資質向上をもって連携市町の教育力向上を図る。							
期待される効果		教職員の資質向上を図るとともに、教職員間の連携強化が期待できる。市町が連携することで、研修講座の効率的・効果的な運営が期待できる。							
		R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度			
事業費（千円）		858	858	858	858	858			
実施スケジュール	具体的な内容	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度			
	教職員向け研修講座の実施	→							
取組の実績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	
	受講者の満足度（％）	98.6	/	100	100	100	100	100	（「満足」＋「概ね満足」）／全回答者数 （受講者アンケート）
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	連携市町からの受講者数の割合（％）	13.3	/	16	17	18	19	20	連携市町からの受講者数 ／全受講者数 （連携市町からも参加可能な講座のみ）
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。

【区分】圏域マネジメント能力の強化

【政策分野】人材育成

【施策名】圏域内人材の育成

取組事項		青少年健全育成の合同研修会の開催							
連携市町		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
		○	○	○	○	○	○	○	
協定の 内容	取組内容	圏域における青少年の健全育成に関わる方を対象とした、情報交換会及び研修会等を開催する。							
	中心市の役割	連携市町と連携し、青少年健全育成に関する情報を共有するとともに、情報交換会及び研修会等の開催情報等を提供する。							
	連携市町の役割	中心市と連携し、青少年健全育成に関する情報を共有する。							
現状と課題		次代を担う青少年の育成は、社会全体で一体的に取り組むべき課題であることから、圏域内で活動する青少年健全育成団体が集い、情報交換や研修会を通じて課題を共有する必要がある。							
事業の概要		三重県青少年育成市町民会議南勢志摩支部（明和町を除く定住自立圏市町）により、青少年の健全育成に関わる方を対象とした支部研修会を中心市及び連携市町の持ち回りで開催する。支部研修会の開催市町は、それぞれの特性に合わせた企画を行い、他の市町は連携して周知を行う。							
期待される効果		連携市町が連携して参加することで、青少年健全育成に関する情報を共有し、圏域全体の青少年に対する健全育成を図る。							
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
事業費（千円）		50	50	50	50	50			
実施 ス ケ ジ ュ ー ル	具体的な内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	合同研修会の実施	→							
取組 の 実 績	成果指標（単位）	実績値		年度別目標値					指標の算出方法
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	合同研修会の開催回数（回）	1	/	1	1	1	1	1	連携市町が持ち回りで毎年開催する合同研修会の回数
	時点	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	時点								
時点									
備考									

※事業費欄は連携市町の予算額（見込）の合計を記載しています。

※成果指標欄の「/」は実績値未判明、「-」は実績値なし。